大阪ガス

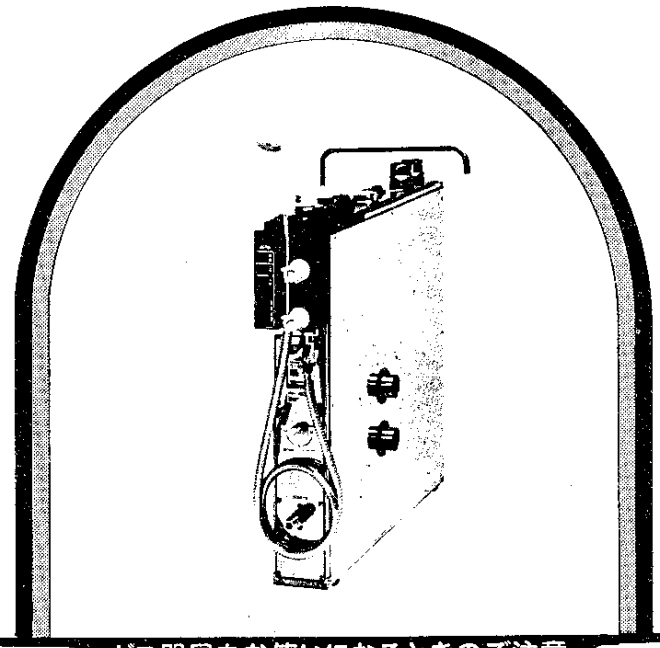
ガス ガス風呂釜

《シャワー・上り湯付》

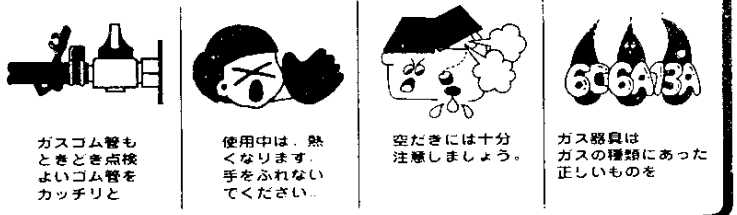
取扱説明書

31-998型
31-999型

保証書付



ガス器具をお使いになるときのご注意



ガスコム管も
ときどき点検
よいコム管を
カッチリと

使用中は、熱
くなります。
手をふれない
でください。

空だきには十分
注意しましょう。

ガス器具は
ガスの種類にあった
正しいものを

●ご使用前に必ずこの取扱説明書をよくお読みのうえ正しくお使いください。

本社・支社所在地および電話番号

本社 カスビル サービスセンター	大阪市東区平野町5－1	電話大阪	06(202)2221 ㊊541
南支社	大阪市西成区玉出東2－9－41	電話大阪	06(652)0001 ㊊557
北支社	大阪市淀川区十三本町3－6－35	電話大阪	06(301)1251 ㊊532
堺支社	堺市住吉橋町2－2－19	電話堺	0722 (38)1131 ㊊590
北摂支社	高槻市藤の里町39－6	電話高槻	0726 (71)0361 ㊊569
阪神支社	西宮市相生町4－11	電話西宮	0798 (26)3101 ㊊662
東部支社	東大阪市稲葉2－3－17	電話河内	0729 (62)1131 ㊊578
京阪支社	枚方市西田宮町16－17	電話枚方	0720 (41)1251 ㊊573
神戸支社	神戸市中央区相生町5－13－10	電話神戸	078(576)5231 ㊊650
京都支社	京都市中京区烏丸御池梅屋町358	電話京都	075(231)8151 ㊊604
奈良支社	奈良市学園北2－4－1	電話奈良	0742 (44)1111 ㊊631
和歌山支社	和歌山市本町1－1－1	電話和歌山	0734 (31)2481 ㊊640
姫路支社	姫路市神屋町4－8	電話姫路	0792 (85)2221 ㊊670
東播支社	加古川市加古川町粟津29－1	電話加古川	0794 (21)1801 ㊊675
豊岡支社	豊岡市三坂町6－57	電話豊岡	07962 (3)2221 ㊊668
湖南支社	草津市追分町字荒堀680－1	電話草津	0775 (62)5311 ㊊525
彦根支社	彦根市大東町12－11	電話彦根	0749 (22)3131 ㊊522
(長浜営業所	長浜市浦員町3－4	電話長浜	07496 (2)7171 ㊊526)

その他当社サービスステーション、およびサービスショップ

- ガス機器をご使用のときは、換気にご注意ください。
- お使いになったあとは、器具せん(元せん)だけでなくガスの元せんもかならずしめましょう。
- ゴム管は、良質の大阪ガス製 マーク入りのものを、そしてコックについている赤線のところまで深くさしこみ、必ずゴム管止めでしめつけましょう。
- お使いにならない鉄管先の元せんにはゴムキャップをかぶせておきましょう。

大阪ガス株式会社

● ごあいさつ

このたびは、大阪ガスのくシャワー・上り湯付〉ガス風呂釜をお求めいただき、ありがとうございました。

この「取扱説明書」をよくお読みになって、器具を正しく使っていただき、別添の保証書とともに大切に保管してください。

取扱説明書《目次》

■お客様へのお願い……表2
●器具の上手な使い方……表2
●特長……表2
■特に注意していただきたいこと……1
■使用上の注意……1
■各部の名称……2
■器具の設置確認……3
❶外壁用として設置されている場合……3
❷住宅公団設置専用・既設排気筒用として設置されている場合……3
■使用方法……4
●使用前の準備……4
●風呂の場合……4
●給湯の場合……4
●同時使用の場合……5
●使用後の確認……5
■凍結防止のための水抜き方法……5
■次の事項は器具の故障や欠陥ではありません……5
■安全装置が作動したときの処置方法……6
■故障・異常の見分け方と処置方法……6
■日常の点検・手入れ……7
■仕様……7～8
■性能表……8
■アフターサービス……表3

●器具の上手な使い方

1. 浴槽に真水を満たして風呂を沸かすより、上り湯(給湯)の落し込みの方がより早くご入浴いただけます。
2. 季節に応じて能力切換え(火力の調節)をしてください。より経済的にご使用いただけます。

●特長

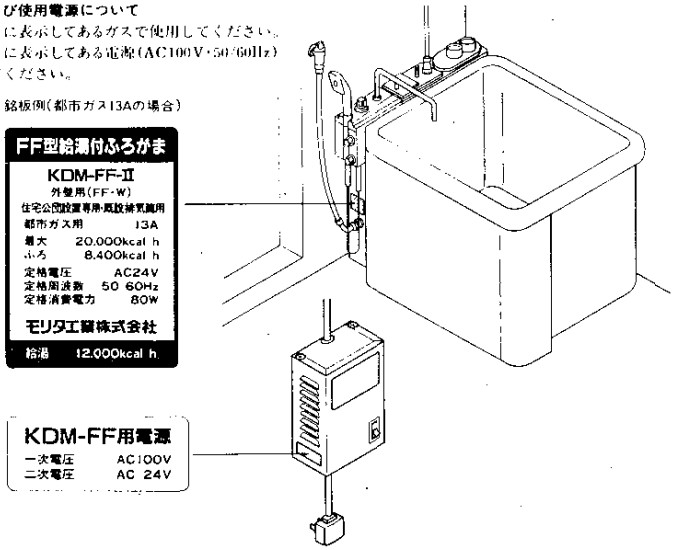
1. この器具は外焚式の風呂釜と、先止め式の給湯(シャワー・上り湯)機能を複合したガス給湯付風呂釜です。給湯器と風呂釜は同時に使用できます。
2. この器具はFF(強制給排気)方式ですから、浴室の空気を使うことなく直接外部から新鮮な空気を取り入れると同時に排ガスを屋外に排出します。浴室内の空気の汚れがなく、酸欠事故などが避けられます。

特に注意していただきたいこと

●使用ガス及び使用電源について

1. 器体(銘板)に表示してあるガスで使用してください。
2. 器体(銘板)に表示してある電源(AC100V・50/60Hz)で使用してください。

銘板例(都市ガス13Aの場合)

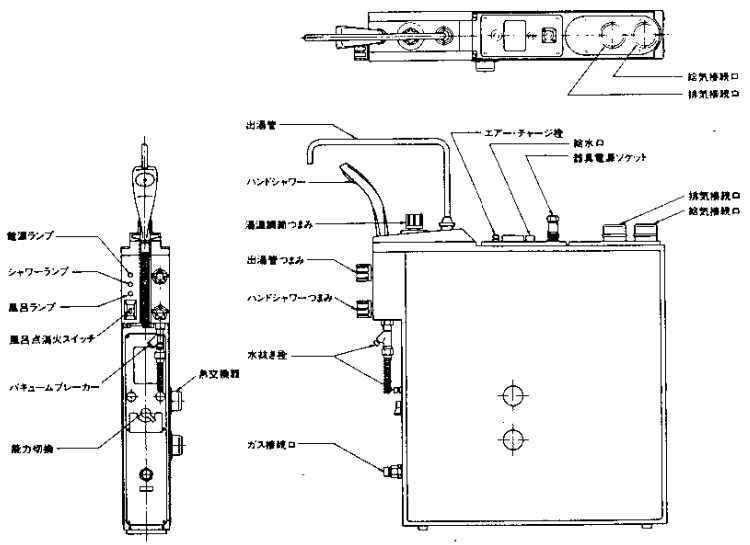


使用上の注意

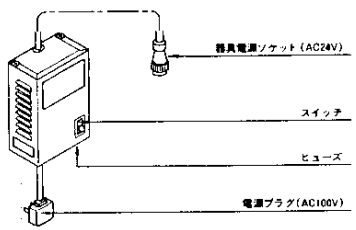
1. お風呂を沸かす際は必ず浴槽に水が十分入っていることを確めてから点火してください。
2. 浴槽の循環口をタオルなどで塞がないでください。
3. 硫黄・酸・アルカリを含んだ健溶剤や洗剤は熱交換器が腐蝕する原因となりますので、使用しないでください。
4. 浴槽や洗濯機等の排水で器具が水没することのないよう、排水口は常に水はけのよい状態にしてください。
5. シャワー(上り湯)を使う場合、最初に熱いお湯が出る場合がありますので直接身体にかけず、湯温を確めてからご使用ください。
6. 器内に長時間たまっていた水を、飲用または調理に使わないでください。
7. 冬期器具内の水が凍るおそれがあるときは、凍結による器具の破損を防止するため、水抜きを必ず行ってください。
8. 屋外に出ている給排気トップ等の周辺には、引火物や可燃物などを置かないでください。
9. 使用中や使用直後は、給排気管や給排気筒(トップ)が高温になっていますので、手を触れないでください。
10. 激しい雷が接近したときは使用を中止して、電源(トランス)プラグを抜いてください。
(雷による一時的な過電流で、電子部品を損傷する場合があります。)
11. 使用中に地震、火災などの緊急事態が発生した場合には、あわてずに電源(トランス)を切り、ガスの元栓を閉じて消火してください。
12. 使用中に万一停電した場合は、器具の安全装置が働いて生ガスの出を止めますが、ふろスイッチをOFF(切)にしてシャワー(上り湯)つまみを閉じ、さらに電源(トランス)を切っておいてください。
13. ガス漏れに気づいたときは、すぐに使用をやめてガスの元栓を閉じ(窓や戸をあけてガスを外へ出し)てから販売店かガス供給業者に連絡してください。
万一、ガスが漏れたときはすべての処置が終るまでの間、絶対に火をつけたり電気器具のスイッチの入・切や電源プラグの抜き差しをしないこと。
14. 使用後は必ずガスの元栓を閉じて消火を確め、お出かけやお寝みの際には電源(トランス)スイッチを切ってください。また、長時間ご使用にならないときは電源(トランス)プラグを抜いておいてください。

各部の名称

●器具本体



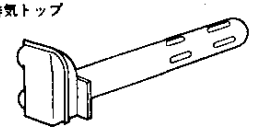
●電源トランス



＊設置条件によって下記部品の内容が異なります。

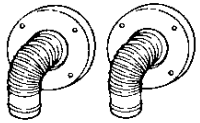
①外壁用として設置されている場合

●給排気トップ



②住宅公団設置専用・既設排気筒用として設置されている場合

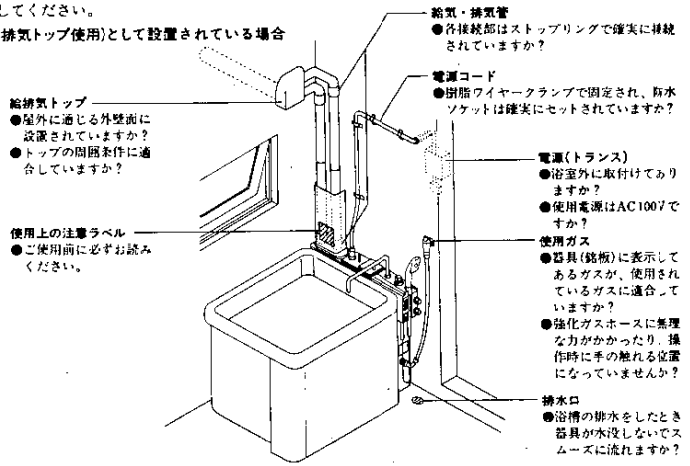
●給気・排気金具



器具の設置確認

●この器具には2通りの設置方法がありますので、ご使用の前に工事説明書通り正しく設置されていることを確認してください。

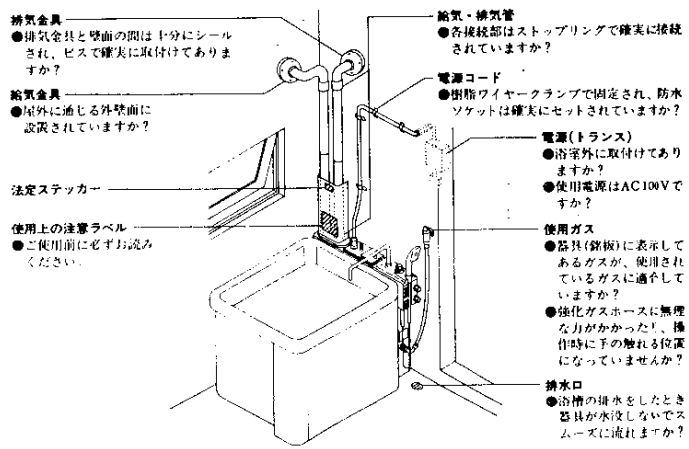
❶外壁用(給排気トップ使用)として設置されている場合



❷住宅公団設置専用・既設排気筒として設置されている場合

＊当方式は住宅・都市整備公団の住戸以外での設置はできません。

＊この器具の設置及び変更工事は法律に基づいて行われ、工事完了後器具本体に法定のステッカー(工事責任者の表示ラベル)を貼付することになっていますので確認してください。



使用方法

●使用前の準備

1. 浴槽の排水栓を確実に閉じてから浴槽へ給水し、水面が上部循環口より10cm以上になるまで水を入れてください。
2. シャワー(上り湯)つまみを閉じてから給水元栓を開いてください。
3. 浴室外の電源(トランス)プラグを、コンセントに確実に差し込んで電源(トランス)スイッチをON(入)にしてください。ランプが点燈するとともに、器具の電源ランプ(緑)も点燈します。
4. ガスの元栓を開いてください。

●風呂の場合

1. 点火の際は、ふろスイッチを 点火 側にします。バーナに着火するとふろランプ(赤)が点燈します。
2. 消火の際には、ふろスイッチを 消火 側にします。バーナが消火するとともにふろランプが消えます。

[点火の際、ふろスイッチを 点火 側にし、5～6秒たってもふろランプが点燈しない場合は、ふろスイッチを 消火 側にし、器具の電源ランプは点燈(通電)しているか、またガスの元栓は全開になっているかを確かめて、再度点火操作を行ってください。]

〔注意〕ふろスイッチを 点火 側にした状態で浴室外の電源スイッチ操作(入・切)をしますと、空焚の危険がありますので必ず浴槽に水が十分に入っていることを確認のうえ、ふろ側のスイッチで点火・消火を行ってください。

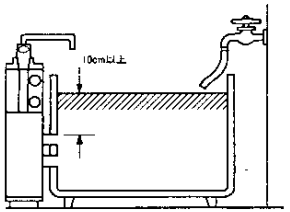
●給湯の場合

1. 上り湯 または、シャワー つまみを開きます。水が出はじめるとバーナに着火し、シャワーランプ(赤)が点燈します。お湯をとめるとバーナが消火するとともにシャワーランプが消えます。
2. 湯温調節つまみは水量を加減して湯温を調節します。お湯の温度は、湯温調節 つまみを右にまわすと熱く、左へまわすとぬるくなります。

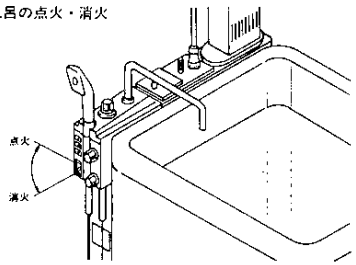
[最初に熱いお湯が出る場合がありますので、直接身体にかけずに湯温を確めてからお使いください。]

3. 能力切換えつまみはガス量を加減して加熱能力(火力)を調節します。
   夏季または低水圧地域等で湯温調節つまみを低温側いっぱいにまわしても熱くて使用できない場合には、能力切換えつまみを(大)か(中)・(小)にしてお使いください。(大)・(中)・(小)の3段切換えですので、途中位置での使用はしないでください。)
4. 使用後は、上り湯・シャワーつまみを確実に閉じてシャワーランプが消えたことを確めてください。
5. 水の凍るおそれのあるときは、必ず給湯部の水抜きを行ってください。(右頁項参照)

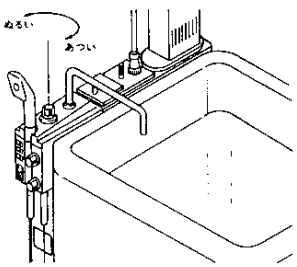
浴槽に水を満たします



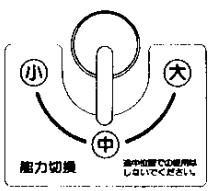
風呂の点火・消火



湯温調節



能力切換え



●同時使用の場合

1. 上り湯・シャワーを使用しながら、お風呂を沸かす同時使用ができます。ふろスイッチを 点火 側にし、お風呂を沸しながら上り湯・シャワーをお使いください。
2. 真水を風呂バーナで沸すよりも給湯管からお湯を浴槽へお落し込む方が、より早くご入浴いただけます。(この際には必ずふろスイッチを 消火 側にしておいてください。)

●ご使用後の確認

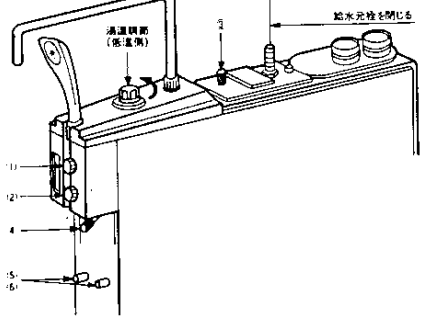
1. ふろスイッチを 消火 側にし、ふろランプが消えたことを確めてください。
2. 上り湯・シャワーつまみを閉じ、水が止まるとともにシャワーランプが消えたことを確めてください。
3. 浴室外の電源をOFF(切)側にし、器具の電源ランプが消えていることを確めてください。

〔注意〕長時間使用しない場合は…… ⓐ給水元栓を閉じ、水抜き操作をしてください。
ⓑガスの元栓を閉じておいてください。
ⓒ浴室外の電源(トランスボックス)のコンセントを抜いておいてください。

凍結防止のための水抜き方法

●冬期や寒冷地で、使用後器具内の水を抜かずにおきますと、夜間に凍結し器具を破損させる場合があります。このような事故を防ぐため、次の要領で水抜きを行ってください。

1. まず、浴室外の電源をOFF(切)側にし、ガスの元栓を閉じ、さらに給水元栓を閉じてください。
2. 湯温調節つまみを低温(左へ)側にし、上り湯つまみ①、シャワーつまみ②を全開にします。
   エアーチャージ栓③、水抜き栓④⑤⑥をゆるめ(開放)ますと器具内の水は排水されます。



*特に厳しい寒冷地では、エアーチャージ栓③を口で強く吹いてください。残留水はさらに一掃されますから、この方法で行ってください。

3. 再度使用する際は各つまみ①、②、エアーチャージ栓③、水抜き栓④⑤⑥を元の状態に戻し、給水元栓を開いて通水し、凍結、水漏れのないことを確認のうえご使用ください。

次の事項は器具の故障や欠陥ではありません

1. 寒い時や湿度の高い時、点火後20分位チョーン、チューンと水漏れのような音のする場合がありますこれは結露現象で、冷たい水の入った熱交換器が急に暖められて表面に水滴ができ、それがバーナに落ちる音で水漏れではありません。
2. 冬期、点火時に給排気トップから白い煙が出る場合がありますが、これは燃焼後の排気ガスが急に冷され水蒸気となるためで、ガス漏れではありません
3. 燃焼中、浴槽内を強く攪拌すると釜内でゴボン、ゴボンと釜鳴りがすることがあります。これは一時的に熱交換器への水の流れが制限されておきる音です。

安全装置が作動したときの処置方法

●空焚安全装置(熱感知式)

万一、風呂釜を空焚したときは、釜の異常高温を感知し自動的にガスを止め、事故を防止します。

〈処置方法〉 空焚したときは、ふろスイッチを 消火 側にし、釜が自然に冷えるのを待って循環口の上部および下部に水を交互に強く注入し、釜内部の掃除をしてください。掃除後は浴槽に水を満たして通常にご使用ください。

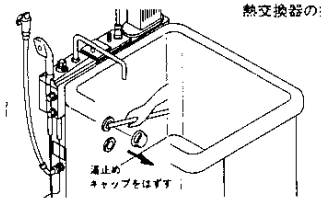
〔注意〕 ④このとき器具内部または浴槽との接続部から水が漏るようでしたら、使用を中止し販売店までご連絡ください。⑤空焚は器具の寿命を短かくし浴槽をいためますので、空焚しないようにご注意ください。⑥消し忘れてお湯が沸騰状態になったときも、この安全装置が作動することがあります。

●立ち消え安全装置(フレームロッド式)

万一、使用中にバーナの炎が消えた場合、炎の消えたことを検知し自動的にガスを止めて事故を防止します。

〈処置方法〉 一度電源を切り、再度点火操作を行ってください。

熱交換器の掃除



〔注意〕 ③再点火しない場合、また再点火後も立ち消えする場合は使用を中止し、電源を切り、ガスの元栓を閉じて販売店までご連絡ください。

●過熱安全装置(温度ヒューズ)

万一、使用中に器具内が異常高温になった場合、その温度を感知し自動的にガスを止めて事故を防止します。

〈処置方法〉 この装置が作動しますと、部品交換をしないと再び使用できませんので、電源を切り、ガスの元栓を閉じて販売店までご連絡ください。

故障・異常の見分け方と処置方法

現象 / 原因	器具電源ランプが点灯しない	点火しない	点火しにくい	点火すると音が大きい	使用中に消火する	異常な音をたてて燃える	高温のお湯がでない	低温にしてもぬるい	風呂の湯き上りが遅い	釜鳴りがする	ガスの臭いがする	処置方法
トランスのコンセントのはずれ	●	●										確実に接続する
トランスの電源スイッチが入っていない	●	●										スイッチを 入 れる
器具電源のコネクタのはずれ	●	●										確実に接続する
停電	●	●			●							通電されるのを待つ
器具内の電気回路の故障	●	●			●							※
使用電源が違う	●	●										※
ガス元栓の開け忘れ		●										ガス元栓を開く
ガス元栓の開き不十分		●	●	●		●		●				ガス元栓を全開にする
配管内に空気が残っている		●										点火操作を繰返す
ガスの種類が違っている		●	●	●	●							※
ガス圧が適切でない		●	●	●	●	●		●				※
バーナの空気調節が適切でない		●	●	●	●							※
ガス管のひび割れ											●	※
ガス管の接続が不完全											●	※
給水元栓の開け忘れ		●										給水元栓を開く
給水元栓の開き不十分		●						●				給水元栓を全開にする
水圧の変動(不安定)					●			●				安定するまで待つ
水圧が低すぎる								●				能力切換を㊥・㊦にする
シャワー吐出口(散水板)のつまり								●				散水板を掃除する
凍結している		●										解凍するまで待つ
給排気トップのつまり		●	●	●	●							障害物を取り除く
能力切換が適切でない							●					能力切換を㊥・㊤にする
能力切換が適切でない								●				能力切換を㊥・㊦にする
浴槽がかまより低い					●					●		正しく設置する
浴槽の水量が多すぎる									●			水量を減らす(4頁)
器具が水没した		●	●	●	●							※
熱交換器の汚れ									●	●		熱交換器内を掃除する(6頁)

※印の場合は、浴室外の電源(トランス)を 切 にし、ガスの元栓を閉じて販売店へご連絡ください。

日常の点検・手入れ

●点検・手入れの際のご注意

1. 必ず浴室外の電源を切りガスの元栓を閉じて、器具が冷えてから行ってください。
2. 浴室外の電源(トランス)及び器具等は、絶対に分解しないでください。本器具は、電気・水・ガスを使用した複雑で精巧な風呂釜です。お客様自身で器具内部を点検・修理することは、たいへん危険ですからおやめください。(年1回の専門家による点検をおすすめします。販売店までご連絡ください。

●点検

1. 強化ガスホースのいたみや接続部からの漏れがないか、ときどき点検してください。この点検の際は電源を切り、ガスの元栓を開き、石けん水をガスホース及び接続部につけると良くわかります。
2. 給水・給湯の接続部、また釜と浴槽との接続部からの水漏れがないかを点検してください。
3. 器具外観(ケーシング)や給排気トップ(給排気金具)の損傷及び給排気管の接合部のはずれがないかを点検してください。これらの点検中、異常に気づいたときは使用を中止し、販売店までご連絡ください。

●手入れ

1. 浴室の排水口は常に水はけを良くし、風呂釜が水没することのないように、よく掃除をしてください。
2. 外壁に設置してある給排気トップ(給排気金具)に、木の葉やビニール袋等がからまっていないか注意してください。
3. 浴室は湿気が多いので、使用後は窓等を開け換気を良くしてください。
4. 熱交換器の掃除は、湯止めキャップをはずし、循環口へホースで水を交互に強く注入して内部の汚れを洗い流してください。
5. 外装の掃除は、乾いたやわらかい布で拭いてください。汚れがひどい場合は、タワシやブラシを使わないで中性洗剤で拭きとるようにしてください。

仕様

❶外壁用(給排気トップ使用)

型式		KDM-FF-H
種類・形式		先止め式・強制給排気式(FF-W)
安全装置	風呂	空だき安全装置・立ち消え安全装置
	給湯	内臓過熱防止装置・立ち消え安全装置・過圧逃し弁・凍結防止装置・逆止弁
	共通	風圧感知装置・過熱防止装置・雷サージ吸収装置
点火方式		連続放電ダイレクト着火方式
本体主要部材質		ステンレス製
給排気トップ		ステンレス製
バーナ主要部材質		ステンレス製・アルミ合金製
熱交換器	風呂	脱酸銅製
	給湯	脱酸銅製
外形寸法		高さ650mm・幅410mm・奥行600mm
重量		器具本体26kg・給排気トップ1.5kg・トランス4kg
ガス接続口径		強化ガスホース用 TU½ (別売φ13mmホースエンド)
給水接続口径		PT½

循環パイプ	口径	φ45mm		
	ピッチ	100mm		
給排気トップ	口径	φ75mm		
	長さ	標準200型(壁厚50～200mm) 別売厚壁用300型(壁厚200～300mm)		
給排気管パイプ径		φ50mm		
電気関係	一次電圧	AC100V 電源コードの長さ0.5m(標準)		
	二次電圧	AC24V 電源コードの長さ5m(標準)		
	定格周波数	50/60Hz		
	定格消費電力	80W		
最低作動水量		3.7ℓ/分(0.2kg/cm²)		
壁貫通穴径	給排気トップ	φ100mm		
	電源コード	φ30mm		
付属品		出湯管・ハンドシャワー・接続ゴム・工事説明書・取扱説明書・電源コード保護管・トランス・電源コード(5m)・給排気トップ(200型)・スライド管・取付ネジ・Y端子・給水フレキ管・ストップリング・雨仕舞部品		
延長距離	最大4m3曲(標準施工)			
	延長距離	6m	4m	2m
	エルボ個数	2個	3個	4個
	1曲＝2m相当			

❷住宅公団設置専用(既設排気筒用)

型式		KDM-FF-II
種類・形式		先止め式・強制給排気式(FF-W)
安全装置	風呂	空だき安全装置・立ち消え安全装置
	給湯	内胴過熱防止装置・立ち消え安全装置・過圧逃し弁・凍結防止装置・逆止弁
	共通	風圧感知装置・過熱安全装置・雷サージ吸収装置
点火方式		連続放電ダイレクト着火方式
本体主要部材質		ステンレス製
バーナ主要部材質		ステンレス製・アルミ合金製
熱交換器	風呂	脱酸銅製
	給湯	脱酸銅製
外形寸法		高さ650mm・幅110mm・奥行600mm
重量		器具本体26kg・電源トランス4kg
ガス接続口径		強化ガスホース用 TU½ (別売φ13mmホースエンド)
給水接続口径		PT½
循環パイプ	口径	φ45mm
	ピッチ	100mm

給排気管パイプ径		φ50mm
電気関係	一次電圧	AC100V 電源コードの長さ0.5m(標準)
	二次電圧	AC24V 電源コードの長さ5m(標準)
	定格周波数	50/60Hz
	定格消費電力	80W
最低作動水量		3.7ℓ/分 (0.2kg/cm²)
壁貫通穴径	給気金具	φ100mm
	電源コード	φ30mm
付属品		出湯管・ハンドシャワー・接続ゴム・工事説明書・取扱説明書・電源コード保護管・トランス・電源コード(5m)・スライド管・取付ネジ・金網付スリーブ管・給気金具・排気金具・Y端子・給水フレキ管・ストップリング
既設排気筒	口径	φ75mm～φ100mm
	長さ及び高さの合計	32m以下
延長距離	給気管	2m2曲り以内(1曲り=2m相当)
	排気管	2m3曲り以内(1曲り=2m相当)

性能表

●バーナ能力

ガス種類	風呂	給湯(大)	同時使用
13A (kcal/h)	8,400	12,000	20,000
12A	8,400	12,000	20,000
6A	8,400	12,000	20,000
6C	8,400	12,000	20,000
6B・7C	8,400	12,000	20,000
5C	8,400	12,000	20,000
4C	8,400	12,000	18,500

●給湯の出湯性能

季節	上昇温度(℃)	能力切換㊀6.3号相当	
		出湯能力(ℓ/分)	所要ガス量(m³/分)
夏	28→43	10.5	0.018
春・秋	18→43	6.3	
冬	8→43	4.5	

●風呂の沸き上り性能

水量	季節	上昇温度(℃)	所要時間(分)	所要ガス量(m³)
180ℓ	夏	28→43	27	0.35
	春・秋	18→43	45	0.58
	冬	8→43	63	0.81

＊上記性能はガス質13A、11,000kcal/m³の場合です。

アフターサービスについて

●アフターサービスを依頼される前に…
〈次の事項は器具の故障や欠陥ではありません〉
〈安全装置が作動したときの処置方法〉
〈故障・異常の見分け方と処置方法〉
の項をお読みのうえ、もう一度確認してください。

●アフターサービスをお申しつけになる場合は…型式、使用ガスおよび故障の内容とお客様の住所・氏名・電話番号等をお知らせください。

●転居される場合…転居先のガス種が異りますと器具が正常にご使用になれません。また、非常に危険ですので販売店にご連絡ください。バーナ交換(有料)等調整をいたします。(同一ガス会社の地域でもガス種の異なる場合があります。)

●無料修理期間(設置後1年間)以降の修理については販売店にご相談ください。修理によって性能が維持できる場合は有料で修理いたします。当風呂釜の補修用性能部品の最低保有期間は製造打切後6カ年です。(性能部品とは、その性能を維持するために必要な部品です。)

＊MEMO＊